

平成 29 年度 事業 報告 書

平成 29 年 5 月 1 日から平成 30 年 4 月 30 日まで

特定非営利活動法人ホテルのふるさと瀬上沢基金

1 事業の成果

29 年度の大きな流れは、基金の支援する「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」による「住民投票条例請求署名」活動が 9 月 15 日から 12 月 10 日まで行われ、署名数：35,978 筆を集めることができましたが、法定署名数の 62,000 筆には届きませんでしたので、直接請求は致しませんでした。また、この間「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」の活動に協力しました。11 月の整開保・線引き・上郷開発案に対する意見書を、基金と守る会で 9,135 通提出しました。国交省や審議会委員への働きかけを行って参りましたが、2018 年 1 月 15 日の都市計画審議会で上郷開発を含む都市計画方針変更が採択され、3 月 15 日に横浜市は上郷開発を含む都市計画方針変更の決定を告示しました。

※「整開保」：都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

平成 30 年 1 月 9 日（火）に横浜市市民局市民活動支援課により、認定の有効期間の実態確認が実施され、平成 30 年 4 月 9 日に認定が更新されました。

当基金は“横浜・瀬上沢の森を守ろう！寄付者 1 万人アクション++”を継続し寄付者 15,010 名、寄付金 1044 万円を達成しています。今年度の寄付者は 458 名、寄付金 58 万円でした。寄付をしても守りたいという皆さまの意志を大切に、行政へも働きかけて行きます。

2 事業内容

① 緑地の取得、保全に関する事業

ア 基金募集事業 [基金募集チラシの配布、戸別訪問]

- ・内 容 会員・寄付者 1 万人アクション++の継続推進、入会・寄付のお願い
寄附は 1044 万円。
各種イベント等でカラーチラシおよび三つ折りリーフレット（入会・寄付案内）配布。
- ・日 時 通年
- ・場 所 栄区 港南区
- ・従事者人員 13 人
- ・対 象 者 会員及び一般市民
- ・支 出 額 0 円

イ クリーンアップ事業（基金主催、瀬上沢文化遺産研究会・パタゴニア協賛）

- ・内 容 道路付近の下草刈りや清掃活動
- ・場 所 瀬上沢区域 主に舞岡上郷線西側旧道付近
- ・日 時 10/8、12/10、4/8 の 3 回実施 毎回軽トラックでゴミ搬出
5/5、9/28 の 2 回臨時の草刈りを実施
- ・従事者人員 6 人
- ・対 象 者 会員及び一般市民
- ・支 出 額 12,246 円

② 自然環境保護活動の普及啓発に関する事業

ア ホームページ事業 [内容充実により自然保護の大切さを広く伝える]

- ・内 容 ホームページを活用し情報をタイムリーに発信し、Facebook、ブログと連

動し更新回数を大幅増。

30年4月末のホームページ累計閲覧数82,028人(29年度閲覧数+8,430人)。

29年度Facebook閲覧数25,946人(28年度11,142件)

ホームページを新しくしました。

- ・場 所 横浜市内
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 5人
- ・対 象 者 会員及び一般市民
- ・支 出 額 831,432円

イ 啓発事業

- ・内 容 瀬上沢の自然保護に関する啓発 他
 - ① 会報を発行できませんでした。
 - ② 基金は、「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」が実施した「住民投票条例請求署名」(9月15日から12月10日まで)活動に協力しました。
 - ③ 「上郷開発から緑地を守る署名の会」「上郷・瀬上の自然を守る会」と協力し整開保・線引き・上郷開発案に対する意見書提出。
 - ④ 行政/議員/報道への働きかけ
審議委員及び国交省への働きかけ
 - ⑤ 市長宛て質問書提出 8回、12件
 - ⑥ 他グループと陳情書提出、記者会見を行う
 - ⑦ 東急建設株主総会にて上郷開発事業について質問
 - ⑧ 「第17回さがみ自然フォーラム」出展、プレゼンテーションとパネル出展
 - ⑨ 都市整備局、環境創造局、建築局訪問
- ・日 時 ① - ②9/15~12/10 ③10月 ④随時 ⑤6月、8月、9月、10月、2月、3月 ⑥8/8 ⑦6/27 ⑧2/8~2/12 ⑨6月、8月、9月、10月、3月
- ・場 所 ⑥の株主総会は東京 ⑦の相模自然フォーラムは厚木市 左記以外は横浜
- ・従事者人員 ①- ②11人 ③10人 ④5人 ⑤2人 ⑥2人 ⑦1人 ⑧1人 ⑨5人
- ・対 象 者 会員 一般市民 行政
- ・支 出 額 7,077,553円

ウ ガイドツアー事業(基金主催、瀬上沢文化遺産研究会協賛)

- ・内 容 瀬上沢の自然や文化遺産の紹介するツアーを随時実施22回
山田陽治さんをご案内に親子向けガイドツアー 他を実施 2回
- ・日 時 5/7、6/4、6/25、7/5、7/9、7/16、7/23、7/30、8/12、8/17、9/2、9/17、9/30、10/7、10/28、10/29、11/5、11/7、11/11、11/18、11/25、12/9、5/21、9/9
- ・場 所 円海山城および瀬上沢
- ・従事者人員 6人

- ・対象者 会員及び一般市民
- ・支出額 103,760円

エ イベント事業（調査・研究を含む）

- ・内容 基金の知名度を高める行事を行う
 - ①基金は「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」が実施したイベントを支援しました。
 - ②ホテルツアー&受任者&同意書署名活動
 - ③夜間昆虫調査 2回
 - ④横浜栄高校の「文化祭」に出展
 - ⑤夏休み研究「川の生き物調査」「川沿いと森の生き物調査」に参加
 - ⑥鎌人いち場に参加
 - ⑦パタゴニア・グラスルーツ実施 5回
 - ⑧港南台ケアプラザにて自然講座開催
 - ⑨港南台ケアプラザにて昆虫展開催
 - ⑩港南台バーズにてパネル展示
 - ⑪「せがみ もり de あそぼう」に参加
- ・日時 ①5月、6月、11月の7回
 - ②6月に4回
 - ③7/10、8/9
 - ④7/1、7/2 ⑤7/24、7/31、8/7、8/10 ⑥5/21 ⑦5/28、8/17、8/18、8/19、8/20 ⑧7/29 ⑨7/28～8/3 ⑩10月 ⑪7/17
- ・場所 ①横浜市内 ②瀬上谷戸 ③瀬上谷戸 ④横浜栄高校 ⑤瀬上谷戸 ⑥鎌倉由比ヶ浜 ⑦パタゴニアベイト・パタゴニア関内 ⑧7/29 ⑨港南台ケアプラザ ⑩港南台バーズ ⑪瀬上沢谷戸
- ・従事者人員 ①10人 ②3人 ③5人 ④7人 ⑤4人 ⑥6人 ⑦5人 ⑧5人 ⑨5人 ⑩1人 ⑪1人
- ・対象者 会員及び一般市民
- ・支出額 5,727,193円

平成 31 年 4 月 20 日

認定 N P O 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金 平成 29 年度事業報告書補足資料

平成 29 年度の支払い寄附金について

自然環境保護活動の普及啓発に関する事業として、数回の意見書の提出、公聴会での公述（2017.12～2018.1）などの活動を行ってきましたが、その後の活動をどうするかで、瀬上沢を守ろうと協力していた団体が集まった会議で、住民投票をやりたいということが提案されました。

住民投票条例制定のためには、横浜市民有権者の 1/50（約 6 万人以上）の賛同署名が限られた期間内に必要です。

多額の資金、法律の知識も必要。人材も不足、発信力もない団体が単独で取り組めるほど簡単な事業ではない。そこで、住民投票に取り組む団体として「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」を作っておこうということになりました（4 月後半）。基金は、基金が目的としている緑地保全のためであり基金の啓発事業の一つなので、啓発事業の一環として「住民投票条例請求署名運動」（9 月 15 日から 12 月 10 日まで。途中 9/29～10/22 まで衆議院選挙のため署名中止期間となり、再開は 10/23～12/10）に取り組みました。実行委員会に基金からもメンバーとして参加しました。

（横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会としての活動）

* 街頭署名 & 署名イベント：48 日（衆議院選挙期間中は活動停止）

* 署名数：35,978 筆

* 受任者仮登録数：4,809 名 * 署名 SPOT 協力：121 ヶ所

（注）住民投票条例制定のための署名活動の資金とするため、企業は製品を基金に寄付をし、基金はそれを受領しました。本来は基金がイベント事業で物品販売を行い「実行委員会」に寄附すべきでしたが、基金ではイベント（バザー & 受任者 & 同意書署名活動）開催の人員、時間もなくイベント事業として取り組むことが出来なかったため、「実行委員会」名でイベントを開催し、資金を調達しました。基金はその物品販売売上を「実行委員会」に寄付をしました。

■ 寄附金の支出先団体「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」について

寄附金の支出先である「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」は、横浜市緑地の年々減っているなかで、上郷・瀬上沢開発からみる横浜市のみどり政策・年計画に関心を持ち、残された横浜市の希少なみどりを未来に引き継いでいきたいと考え、様々な立場や視点を持った横浜市民の有志が集まった団体です。

2017年4月19日に第1回会合開かれ、委員会の目的、活動予定が話し合われました。発起人として以下の方々が参加しています。

- * 関山隆一 / 都筑区（保育園経営）
- * 河村和紀 / 戸塚区（森と踊る株式会社取締役）
- * 田嶋泰行 / 栄区（認定NPO法人ホテルのふるさと瀬上沢基金会員・ジュエリーデザイナー）
- * 宮澤廣幸 / 金沢区（弁護士）
- * 角田東一 / 港南区（認定NPO法人ホテルのふるさと瀬上沢基金理事）
- * 藤田みちる / 栄区（認定NPO法人ホテルのふるさと瀬上沢基金理事・元市会議員）
- * 井端淑雄 / 栄区（栄区在住）
- * 栗田沙耶 / 磯子区（上郷高校卒業生[現栄高校]）
- * 鶴巻拓 / 磯子区（磯子区在住会社員）
- * 田中倫 / 栄区（本郷台在住会社員）
- * 合場敬子 / 戸塚区（大学教授）

参考資料

「横浜に残る貴重な自然を次世代に残し、豊かな生態系と文化を子どもたちの世代に引き継げるように、自然とともにある地域を市民が主体となって創っていく」ことを目的に活動。

（2017.8.8 プレスリリース：横浜市・栄区上郷・瀬上沢の緑地の開発計画に市民の声を「住民投票」条例制定の直接請求を行うことを決定）

<http://livegreenyokohama.com/>

<https://www.facebook.com/yokohamamidorimirai/>

■ 「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」への寄附について

啓発活動に関して、基金による啓発活動では構成会員の年齢層が高く人員不足が見込まれること、実行委員会が開くイベントには販売経験者が確保できることや多数のイベント参加者が見込まれ、基金の目的達成のためにより効率的であると判断しました。

■ 「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」の適正な執行について

基金理事長と会計担当理事が、寄付が適正に使われたかを実行委員会の会計報告書と領収書により確認しました。

また、実行委員会の本来目的は達成されていませんが、住民投票条例制定のための署名活動終了後、年度内活動が未定であったことから、余剰金の返却を受けました。